

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

2024年に当院小児科において分離されたインフルエンザ菌の分離状況、莢膜血清型と抗菌薬感受性

[研究責任者]

研究責任者：江南厚生病院 小児科 代表部長 西村 直子

[研究の概要]

インフルエンザ菌は小児細菌感染症の主要原因菌の一つとして知られており、インフルエンザ菌のなかでも重篤な感染症を引き起こすb型に対して有効なHibワクチンの定期接種が2013より開始されました。また抗菌薬の効かない耐性菌の増加が問題となっており、適切な抗菌薬治療のためには継続した分離菌株の解析や収集が重要です。小児におけるインフルエンザ菌感染症の最近の発生動向を把握し、適切な治療方針の決定に役立てるため、当院でインフルエンザ菌が分離された小児患者さんと分離株の情報を調査し、検討を行ないます。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2024年1月～2024年12月の1年間に江南厚生病院小児科でインフルエンザ菌が分離された小児

●利用するカルテ情報

受診した年月、年齢、症状、使用抗菌薬、経過、合併症の有無、Hibワクチン接種歴の有無、分離検体の種類、分離株の莢膜血清型、抗菌薬感受性 等

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 小児科 代表部長 西村 直子

●研究分担者：江南厚生病院 小児科 栗山 陽菜

TEL : 0587-51-3333